



なんでやねん

発行責任者 倉橋 忠



No.6

情報化社会を生き抜くために必要な「学力」は何か

「知識」だけを覚えれば、現代を生き抜く「学力」は身につくのであろうか。情報化社会では、私たちが生き抜くために必要な「学力」は、そんな単純なものではない。

情報化社会は、数百万年の人類の歴史で積み上げられてきた知識や技術の上に成り立つ。現代社会が複雑なのは、知識・技術と社会問題が積み重なっているからだ。

情報化社会の進化速度は、これまでの時代・社会とは比べものにならないほど速い。私たちは過去及び最新の知識・技術と「健全な心」を身につける必要に^{せま}迫られている。

【 情報化社会までの歴史 と 社会で求められる「基礎学力」の変遷 】

時代名	年代	社会の生産技術・問題の積み重なり				生産活動の性質	資源の性質	求められる「基礎学力」
旧石器時代	約500万年前～ 約1万年前	狩猟・漁労・採集				物的生産活動	有限 消費すれば消費する → 所有のかたより	
農業化社会	約1万年前～	農耕・牧畜・ 家内制手工業						
産業化社会	約2000年前～ (産業革命以降)	機械制工場工業						「読み・書き・そろばん」 (知識・理解・技能)
情報化社会 (現代)	約30年前～	 ① 情報技術(コンピュータ技術) ② 情報のデジタル化 ③ 情報流通のネットワーキ化				知的生産活動	無限 (デジタルデバイス) 情報格差の問題	知識・理解・技能 + 思考力・判断力・表現力 + 情報リテラシー 情報モラル

情報化社会を支える資源の歴史

時代名	年代	資源				
旧石器時代	約500万年前～ 約1万年前	自然界のモノ(物質) + エネルギー(労働力)	自然界から 得る			
農業化社会	約1万年前～	自然界のモノ(物質) + エネルギー(労働力)	自然界から 得る	モノが生産で きるようになっ た		
産業化社会	約200年前～ (産業革命以降)	自然界のモノ(物質) + エネルギー(労働力) + エネルギー(蒸気・電気など)	自然界から 得る	モノが生産で きるようになっ た	モノの 大量生産・大量 消費	
情報化社会 (現代)	約30年前?～	自然界のモノ(物質) + エネルギー(労働力) + エネルギー(蒸気・電気など) + 情報(デジタル化された知識・事実)	自然界から 得る	モノが生産で きるようになっ た	モノの 大量生産・大量 消費	情報や知識の 大量生産・伝 達・蓄積

高度情報化社会では情報^{しげん}が重要な資源となる。これまでの時代・社会で必要されてきた自然界の資源から作り出したモノやエネルギーに、情報^{ついで}が追加される。今日の産業界では、デジタル化された情報はお金よりも重要な資源だとも言われる。デジタル化された情報は、コンピュータ技術と通信技術^{ちうせき}で蓄積される。それは「時間の蓄積」も可能にした。世界中で多くの人が費やした時間や技術^{ちえ}と知恵が蓄積され、より高度に日々進化し続けている。その動きが、社会の進化速度を速め、情報格差を広げる。

私たちは、急速に進化する高度情報化社会に、どのように立ち向かっていくべきだろうか。たとえば、電子メールは世界中に一瞬に手紙を送信できる。しかし、そのデータは無数のサーバーや個人のパソコンなどに保存される。データが盗み取られない保障はないし、防禦^{ぼうえき}することもほぼ不可能だ。どのような利用方法がいいのだろうか。

